



農水省山田課長補佐

研修では、農林水産省農村振興局整備部設計課施工企画調整室の山田淳課長補佐が「土地改良施設機能更新等円滑化対策の役割～農家・地域住民参加型直営施工及び農地・水・環境保全向上対策との関わり～」と題して講義された。本事業は平成18年度から①基幹的施設の耐震設計②簡易補修等による機能回復手法の確立③国営土地改良財産に関わる権利者及び土地利用状況調査等について、5カ年計画で事業実施しており、農家及び土地改良区等の直営による簡易補修の意義と効果について、施工例を交えての説明があった。



ショーボンド江口主幹

続いて、ショーボンド建設(株)江口和雄主幹が「農業水利施設のコンクリート構造物診断と補修簡易補修等による機能回復手法」について、コンクリート科学的特性を説明しながら施設の

変状の発見から対策工法の選定、補修方法、補修剤の特性について講義された。

その後、事前に寄せられた相談事例2題（水路の継ぎ目損傷水路の張ブロック欠落）について説明があった。

午後からは潟上市天王において水路の目地と壁面簡易補修の実演・研修が行われた。目地の補修では、シーリング材による充填工法、特殊粘着テープによる補修、水中でも効能を発揮する特殊な充填材の使用、壁面補修では、プレミックスタイプのポリマーセメントモルタルによる補修が専門家の指導のもとに行われ、参加者は技術習得の難易度やコスト等を勘案しながら研修に取り組んでいた。



目地補修の実演



研修者の真剣なまなざし

平成21年度秋田県耕作放棄地対策協議会 第2回通常総会を開催

9月29日(火)、本会会議室で、「秋田県耕作放棄地対策協議会」の第2回通常総会が開催された。

総会は、黒子会長（本会専務理事）不在のため、菅原副会長（県農業会議事務局次長）が挨拶の後、議長を務めた。議事では報告事項①平成21年度上半期の県協議会事務執行状況について②地域協議会の設立状況・構成員についてが事務局から報告された。続いて議決事項①平成21年度秋田県耕作放棄地対策協議会事業計画の変更（案）について②平成21年度秋田県耕作放棄地対策協議会事業の収支補正予算（案）についてが諮られ、いずれも原案どおり議決された。



【秋田県耕作放棄地対策協議会の設立状況一覧表】

〔24地域協議会〕

市町村名	地域協議会名	設立承認月日	担当部局	市町村名	地域協議会名	設立承認月日	担当部局
鹿角市(小坂町)	鹿角地域耕作放棄地対策協議会	H21.1.22	鹿角市農林課	井川町	井川町水田農業推進協議会	H21.9.7	産業課
大館市	大館市耕作放棄地対策協議会	H21.7.31	農林課	大潟村	大潟村耕作放棄地対策協議会	H21.9.17	産業建設課
北秋田市	北秋田市地域耕作放棄地対策協議会	H21.7.16	農林課	由利本荘市	由利本荘市地域耕作放棄地対策協議会	H21.7.8	農業水産課
上小阿仁村	上小阿仁村耕作放棄地対策協議会	H21.9.7	産業課	にかほ市	にかほ市耕作放棄地対策協議会	H21.8.20	農林水産課
能代市	能代市耕作放棄地対策協議会	H21.8.26	農林水産課	大仙市	大仙市水田農業推進協議会	H21.5.20	農林振興課
藤里町	藤里地域耕作放棄地対策協議会	H21.7.15	農業委員会事務局	仙北市	仙北市耕作放棄地対策協議会	H21.8.10	農業委員会事務局
三種町	三種地域耕作放棄地対策協議会	H21.1.29	農業委員会事務局	美郷町	美郷町地域担い手育成総合支援協議会	H21.8.24	農政課
八峰町	八峰町地域耕作放棄地対策協議会	H21.8.28	農業委員会事務局	横手市	横手市地域耕作放棄地対策協議会	H21.5.27	農政課
秋田市	秋田市耕作放棄地対策協議会	H21.7.28	農業農村振興課	湯沢市	湯沢市耕作放棄地対策協議会	H21.8.4	農林生産課
男鹿市	男鹿市耕作放棄地対策協議会	H21.9.7	農林水産課	羽後町	羽後町担い手育成総合支援協議会	H21.7.15	農林課
潟上市	潟上市担い手育成総合支援協議会	H21.5.20	産業課	東成瀬村	東成瀬村耕作放棄地対策協議会	H21.8.6	産業建設課
五城目町	五城目町水田農業推進協議会	H21.5.1	産業課	秋田県耕作放棄地対策協議会		H21.1.15	協議会事務局
八郎潟町	八郎潟町耕作放棄地対策協議会	H21.7.15	産業振興課				

参加無料

**第132回
秋田県種苗交換会協賛行事
農村環境保全・
活性化フォーラム**

開催日時 平成21年 **11月2日(月)**
9時30分～正午

開催場所 **秋田県社会福祉会館**
10階 大会議室 (秋田市旭北栄町1番5号)

内 容

(1) 基調講演
講 師 秋田県立大学生物資源科学部アグリビジネス学科
教授 荒穂 豊
テーマ 「食・農・G・T・観光の連携による農山村の活性化」

(2) パネルディスカッション
テーマ 「他産業と連携したコミュニティ・ビジネスの可能性」
コーディネーター 秋田県立大学生物資源科学部アグリビジネス学科
教授 荒穂 豊
パネラー
株式会社わらび座 営業企画室長 大和田 しずえ
株式会社櫻山 代表取締役 榎本 鈴子
農事組合法人十二姓担い手生産組合 代表理事 本間 恒
NPO法人一里塚 理事長 清水 昭徳

2009

秋田県中山間ふるさと 水と土現地見学会

開催!!

～平鹿の歴史を辿り 文化に触れ 暮らしを感じる～
共に考え、語る 伝承と恵みの郷紀行

現地見学会は、秋田県中山間地域土地改良施設等保全対策事業（略称：ふるさと水と土事業）で毎年開催しているもので、今回が6回目となる。

この見学会の開催は、県内中山間地域の農業や地域資源・魅力について広く県民の方々に理解・関心をもってもらい、農地や土地改良施設の保全・利活用に係わる諸活動への参加促進を目的にしている。

今年は平鹿管内で旧大森町と旧雄物川町を舞台に、新聞等で募集した68名の参加者のもと9月5日(土)に開催した。（協力：山城水系土地改良区・横手市、後援：水土里ネット秋田）

今回は、地域文化「農村漫談」、伝統芸能「岡本新内・八沢木獅子舞」、地域の歴史「御利益通り（木戸五郎兵衛神社・崇念寺・蔵光院）・雄物川民家苑」、食文化「地産地消弁当」、土地改良施設「山城堰頭首工」、そして、中山間地の土地利用状況として「棚田・ぶどう棚」の紹介・見学を行った。

現地での案内はすべて地元の方々をお願いし、伝統芸能の披露を文化を育んできた棚田の残る集落の中で「中山間地の歴史と文化と暮らし」を参加者の方々に肌で感じてもらえるよう努めた。

旧雄物川町



地元のみならず全国各地で活動をされている旧雄物川町在住の辻田与五郎氏。自らの農業での失敗談や血液型別の特徴をもとに一定の法則を見だし、政治家の力関係の分析した日本初の血液型漫談を披露してくれた。



市指定無形民俗文化財の「岡本新内」は、当初「保存会」によって継承されてきたが、同会の活動が高齢化により先細りとなってきたため、中学生を中心とした「伝承会」を設立した。そして、現在「岡本新内」を後世に伝えていくために活動を展開している。



「沼館・今宿御利益通り」は地域おこしの一環として企画されたもの。

当日は、写真左から「蔵光院」「木戸五郎兵衛稲荷神社」「崇念寺」の3カ所を巡り、御利益を祈願した。（各御利益は、蔵光院：五穀豊穡・諸願成就、稲荷神社：五穀豊穡・挑戦成就、崇念寺：必勝祈願・成就祈願）

旧大森町



土地改良事業の必要性について理解してもらうために、土地改良施設の紹介と役割について説明をした。開墾された見渡す限りの広い土地は、この堰によって昔も今も潤いを受けている。

棚田・ぶどう棚の見学をし、条件不利地とされる中山間地での農業の紹介と、多面的機能維持のための管理活動の説明を行い、都市部が享受してる恩恵は地域の方々のおかげであることを理解してもらった。

そして、この自然が育んだ文化として、伝統芸能「八沢木獅子舞」を集落の一角で鑑賞した。



横手市大森町八沢木にある塚須沢集落の棚田



横手市大森町猿倉にあるぶどう棚



横手市大森町本木地区に古くから伝わる「八沢木獅子舞」。悪疫退散・豊作祈願のための神楽。

見学会終了後、参加者から「秋田の農村の良さを十分堪能させてもらったが、これを存続させていくには課題がたくさんあり、いったい自分に何ができるのか…」「普段では見ることのない所が見れてとても勉強になりました。」「今まで一度も訪れたことのない場所で、すばらしい文化や暮らしを知ることができました。今日の経験を友人・知人に話したいと思います。」「先祖が残してくれたものを守り、伝えていきたいという思いが強く伝わってきました。中山間地の魅力や人々の誇りを再認識できました。」等の感想が寄せられた。

県では、来年度以降も中山間地域理解の啓発・普及につながる取り組みを実施していく予定である。

(秋田県農林水産部農山村振興課)